

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY

# なごや ちくさ



題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ  
 承認 1982年 8月24日  
 例会日 火曜日 12:30  
 例会場 愛知厚生年金会館  
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121  
 会長 山本 眞 輔  
 幹事 吉田 玄  
 会報委員長 池 森 由 幸

No. 37

### 率先しよう

### LEAD THE WAY

2006~2007年度 RI会長 ウィリアム(ビル)B.ボイド

きょうの例会  
 第1180回 平成19年 5月15日(火)  
 “水と気の話” 野村創造研究所 野村晴彦様

先週の記録  
 第1179回 平成19年 5月 8日(火) 晴

◆“君が代”  
 ◆“我等の生業”  
 ◆ビジター紹介 2名  
 ◆ゲスト紹介 和田正敏君ゲスト 江口 武史 様  
 ◆出席報告

会 員	59 (57) 名	出 席	49名
出席率	85.96 %		
前々回	4月17 (修正出席率)		98.25%

#### 吉田幹事報告

1. 本日例会終了後、クラブアセンブリーを開催いたしますので担当の方は芙蓉の間にお集り下さい。その後、理事役員会を開催致しますので理事役員の方はそのままお残り下さい。
2. ロータリーの友5月号とガバナー月信が来ておりますので、お帰りにお持ち下さい。

#### 鈴木理之君受章

本日は皆さんより過分な祝意を戴き有難度うございました。

実はひょっとしてこの様な場与えられることを想定して五十年前に親友から送られた一枚の葉書を持参しました。

丁度私が二十才頃周囲より能楽師になることを勧められ稼業を継ぐか楽師になるか迷っていた時友人からの葉書に次の一句が書かれていました。

『一筋に咲き続ける花、陽当る』

二股人生は良い結果を以たせないぞとの助言と受取り鼓職人となり今回の栄誉に浴することが出来たと思いです。

重ねてありがとうございます。



4月29日春の叙勲にて旭日双光章を受章されましたので山本会長より花束とお祝金を贈呈。

#### 山本眞輔君受賞



5月3日中日文化賞を受賞されましたので柵木副会長より花束を贈呈

#### 山本会長挨拶

五月になりました。文字どおり風薫る新緑の候で、一番いい季節です。ゴールデンウィークも終わりましたが皆さんいかがお過ごしだったでしょうか？

我が家は久しぶりに家族全員が集合しました。孫8人で総勢14人でしたがやはり一番大変だったのは家内でした。しかしすべての中心、源はfamilyであるということを実感したゴールデンウィークでした。

本日のゲストは和田君のご紹介で江口武史様。ビジターは名古屋RC白木和大君と名古屋東RC古川善二郎君です。ようこそお越しくございました、どうぞ時間のゆるすかぎりゆっくりとりお過ごし下さい。

5月6日(日)ウエスティンナゴヤキャッスルに於いて2007~2008年度のための地区協議会がありました。次年度へのガバナー引継ぎ、記念エンブレム贈呈など着々と行事が行われ、なにかホッとしたものを感じ

じて帰りました。参加者の皆さんご苦労様でした。

4月29日、わが千種ロータリークラブのメンバーである鈴木理之さんが春の叙勲で旭日双光章受章という朗報を受け取りました。大変素晴らしいことで、心よりお祝い申し上げます。健康に留意され、ますますのご活躍を期待しております。また5月3日、私に〔中日文化賞〕受賞の報が入りました。多くの皆様から祝意をいただき、この場をかりまして厚く御礼申し上げます。

4月28日、名市大の私の研究室を卒業した若者が結婚し、明治村の聖ザビエル天主堂でイタリア式の結婚式でした。外国人神父の司祭で行われ、神父様の話の中に先ほどのfamilyという言葉の解説がありましたのでご紹介します。「英語の“family”のスペルを思い浮べてください。この6文字はそれぞれの大事なことばの頭文字です。それは私たちにとって最も大切なものです。」外国人独特の少し訛りのある日本語で、しかも教会でこれを聞きナルホドと思いました。

F. father    A. and    M. mother

I. I            L. love    Y. you

Father and mother I love you!

以上です。皆さんはどう思われますか？ロータリークラブのひとつひとつがfamilyでもあるとも考えられます。家族がすべての根源です。クラブの発展の基礎です。Familyをご紹介申し上げ挨拶とします。

### クラブフォーラム

#### ◆地区協議会第一分科会報告 宮尾 紘司君

テーマは「有効なクラブ運営・管理（地域内の連帯と達成感を）」でした。まず、斎藤ガバナーは定款・細則を会長、幹事のみならず理事会メンバーが良く読み理解すること各クラブを訪問して理解してない例があった。江崎ガバナーノミニーはクラブ、リーダーシップ、プランの真の意義という事を力説されました。R.I.のアンケート調査によると世界のR.C.の73%がその有効性を認めており有効性を認めていない残りのR.C.の過半数は日本だそうです。

そして、C.L.PはR.I.の情報にはあたかも既成事実のように解説されており最近グローバルスタンダードになったと言われてます。C.L.Pは機能喪失したクラブの起死回生策であります。その5つの指針はクラブの活性化の為に機能喪失の予防策として活用して欲しい。会員全員で定期的にC.L.P指針を利用してチェックすることはクラブ運営に全員参加の意識をもたらすクラブを評価するツールとして活用して欲しい。と説かれました。

日本では2005～6年の間に7つのクラブが消滅したそうです。2760地区に於いては、クラブ数は増えていますが会員数は大幅に減少しているようです。1クラブの平均会員数は43名。次年度会員増強に貢献した会員にはR.I.からスポンサーバッジが贈られるそうです。我クラブでも沢山の人がスポンサーバッジを獲得できるよう努力したいものです。

#### ◆地区協議会第二分科会報告 小山 雅弘君

第2分科会のテーマは「クラブにもっと魅力を。新時代の運営管理」でクラブ奉仕、ロータリー情報、会員増強、広報、ロータリー家族、ITの各地区委員長から次年度の方針についてお話がありました。

〔クラブ奉仕〕理事会と各委員会とのパイプ役を努める事、クラブ運営の効率化をはかる施策を何か1つでもいいから実施してほしい。〔ロータリー情報〕CLPについての地区の見解について説明がありました。CLPはクラブを蘇生させる妙薬としてRIが提唱しているものでロータリーの歴史においても画期的なクラブ向上の一手段です。このプランの採用は強制されるものではなく各クラブの考えによるものとされています。これに対し地区見解ではまずはクラブの近未来におよぶ運営について全員協議会で論じてほしい、ここから改革の第一歩を始める〔会員増強〕目標は純増2名、地区会員数日本一をめざす。次年度はRI会長より新入会員推薦者にバッジの贈呈される〔ロータリー家族〕ロータリアンの家族、ローターアクター、インターアクター、青少年交換学生、ロータリー財団奨学生、米山奨学生、ロータリアンの遺族、退会ロータリアンを含めた奉仕活動へ参加いただく事によりクラブの活性化をはかる。〔広報〕広報は「マメ」にやらねば進まない。各クラブ「身の丈」に合った活動をしてほしい地区委員会は各クラブをサポートします。RI広報賞、広報補助金申請の活用を！〔IT〕ロータリーとIT。IT化現状、各クラブの利用状況について説明あり、ウィークリーのコストダウン、会員増強への効果、コミュニケーションの活発化などの事例紹介があった。

最後に岡部パストガバナーより講評があり地区委員会の活用、クラブ管理の簡素化による時間外奉仕の充実をはかり、各クラブは世界に1つのクラブを目標としてほしいと結ばれました。

#### ◆地区協議会第三分科会報告 伊豫田博明君

第三分科会のテーマ「職業奉仕はロータリーのステータス」です。ロータリーの要は親睦と職業奉仕で、誇りと自負の念を持って下さいとの事でした。

その後、RI、職業奉仕に関わる変換の話があり、職業奉仕とは自分の職業に対する奉仕ではなく、ロータリアン個人個人が自分の職業の質、道徳性を高め自己の天職たる職業を通して社会に各自の業務を通し社会奉仕する為、その業務を品位あらしめる事。大変崇高なお話でした。

また、米山梅吉氏の「ロータリの例会は人生の道場」例会出席とは奉仕・親睦を通してお互いが切磋琢磨して自己研鑽し、職業奉仕を通し社会に奉仕する。

最もよく奉仕する者、最も多く報いられる。職業奉仕のモットーです。具体的に四つのテスト1954年RI会長ハーバードJ・テーラーより 1) 真実かどうか。 2) みんな公平か。 3) 好意と友情を深めるか。 4) みんなのためになるか。以上です。

理念・道徳感・倫理感大変難しく、自身四つのテス

トにイエスがいくつ出せますか職業奉仕を考えさせられる一年になりそうです。

#### ●地区協議会第五分科会報告 谷口 優君

第5分科会は国際奉仕をメインとするものでした。

①青少年交換学生は1968年から始まり10名程度を各国へ派遣し外国からも同数受け入れるとのことで愛知県下の高校へ募集要項をこれから送付します。申込書の窓口は最寄のロータリークラブとなりますので、必ず応募申込書は受領して下さいとの指示がありました。過去に申込書の受領を拒否したクラブもあり、応募要綱の取扱いと違うとの苦情が寄せられているからです。因みに千種ロータリーは7名を派遣し同数を受け入れております。交換学生としてフランスへ派遣された女性および現在フィンランドから派遣された高校生が生活での教訓や楽しさにつきスピーチがありました。

②WCS（地区世界社会奉仕委員会）とは生活レベルを高める国際奉仕で異なる国と地区とのプロジェクトを支え地区およびホームクラブに対し支援を必要としている地域の情報を提供し成功談を伝える活動をしている委員会とのことでした。各クラブもこの活動に参加して欲しいとのことで、その基準は平和の育成、人道的な性質のもの2カ国以上のロータリアンが参加していること参加国の一カ国はプロジェクトの実施国であることが必要とのことでした。この活動は1962年にインド出身の国際ロータリーのガバナーが提唱し1967年の名古屋で開催された大会でECSが設立されました。タイやラオスなどでの校舎の建設などのプロジェクトを成功させているとのことです。

③国際ロータリー財団の活動をするには資金が必要ですが一定の要件さえ備われれば財団から資金拠出することも可能であるとの説明があり、その要件については毎年変わるので地区ロータリー財団窓口へ問い合わせして下さいとのことです。

④危機管理委員会からは米国では交換学生への虐待やハラスメント（いやがらせ）が大きな問題となっている。パストガバナーが虐待により投獄されたり巨額な賠償金を求める訴訟が提起されている。そのため交換学生などの青少年を守りロータリークラブ自体をも守るために「青少年に対する虐待とハラスメント防止」の指針を取りまとめるようにR Iから要請され日本版の指針が策定され現時点ではR Iの仮認証を受けているが、2007年7月までに認証が得られないと新世代に関する活動や青少年交換学生に関する活動が出来ないこととなる。指針の内容は虐待などの定義の明確化（要件1）、虐待などがあつた場合にはその申立てを受理しそれを上部機関へ報告することが最低限要求されている（要件2）、上記活動をする者（ロータリアン、ホストファミリー）には誓約書の差し入れが必要（要件3）ロータリークラブとしては賠償保険に加入する必要もあるとのことでした。

この問題については米国とその他の国では温度差があるのも事実だそうです。

#### ●地区協議会第九分科会報告 奥村 彰司君

テーマ“ロータリーは人生規範を学ぶコンペの場、先哲に学ぶ”のもとに、長谷川次期地区副幹事の司会・進行で開催致しました。サブテーマには主に5つで次年度ロータリー活動にどのように取組むのか指摘がありましたので、簡単に報告致します。

##### ①当代ロータリーにおけるリーダー像

豊島徳三リーダーは“共に学び共にやっけて行く”のが大きな方針。それには温故知新を実践し、とにかくロータリーを好きになる事、楽しむ事が必要だという事。そして個人的には「ロータリーの文献を1つでも良いから読んで欲しい」「ロータリーがどう発展しどう変質して来たのかを研究し今後1人1業を成し得ればロータリーの原点でもある“奉仕”に繋がる事」を強調してみえました。

##### ②良いロータリアンになるために

神戸政治パストガバナーは退会者の理由に“無関心が一番いけない事”を指摘。それを防ぐには“充実したロータリー活動”を実行するのが一番！その為には3つのポイントを挙げられました。

1. 例会に必ず出席する事…これは第1の優先順位！
2. クラブの会合に参加する事…色々なクラブ活動に前向きな姿勢を！
3. クラブの運営費…自分の目でチェックし、使い方を理解していれば万全！新入会員を前に、ロータリアンの心掛けを指摘。

##### ③シカゴの規定審議会に出席して

内藤明人パストガバナーはシカゴ規定審議会に参加（4/22～28）。地区代表として500人以上集まり世界で100数カ国240万に在るロータリーの規定を3年毎に見直しをしているとの事。日本からも提案したそうですが半分以上は見直しが通ったとの報告。今日のテーマにある“人生の規範”にも言及され経験を踏まえ、「自分の事は一生懸命その時相手の気持ちを思いやり見計って共にヤル事！」「フェアな心でヤル事が自分の精神だ！」と強調されとても印象的でした。

##### ④万博以降の地区ロータリー

大島宏彦パストガバナーは万博後のロータリーは建設資金がまだまだ充分でなく若干心配だという事。しかし、新しい目標に向かって注意事項を指摘。1. 決して過大にならないように 2. 手の届く範囲でヤル事 3. 無理をしてはいけない この事を基本に「ロータリーのルールを守りながら次のステップに向かう必要があるし“Something New!!”を今後創出すべく努力しなければいけない」と強調。

##### ⑤「ロータリーの友」より先哲に学ぶ

松前憲典はアシスタントリーダーはまず「先哲」の哲は先人・先輩と置き換えるよう指摘！

“ロータリーの友”の抜粋版を全員に配布。国内・国外のロータリアンの紹介、90歳以上現役で入会してみえる人の紹介をしながら「とにかく“ロータリーの友”は毎月必ず読む事。そして、それを是非活用する事」を強調。ただ固くならず軽い気持ちで読んで欲しいとの事。

